

高根学園保育所

(静岡県御殿場市)

施設紹介

高根学園保育所は「小さい時に学んだ精神は大人になっても変わらない。世の中をよくするには乳幼児期の教育が大切である」という賀川の精神によって昭和6年に創設されました。

2005年に完成した新園舎は大きなエメラルドグリーン屋根が目印。富士の裾野の風が吹きわたる自然に恵まれた環境の中、保育所では創立当時の精神を受け継ぎ、子どもたちの豊かな育ちをめざして保育に取り組んでいます。また毎日20組以上の親子が、園舎内に設けられた子育て支援センターを利用して利用しています。



エメラルドグリーン屋根が目印
晴れた日には園舎の木々の向こうに富士山が見えます。

静岡県御殿場市西田中 402-8 TEL: 0550-82-0539

賀川豊彦が神戸のスラムで活動を始めた後、賀川は無料診療所や無料職業紹介所、住宅改善、低金利金融機関などと共に、保育所と児童館の設置を提案していました。賀川と同志らの努力によってこれらはほぼ実現しますが、このうち児童館に関しては、夜学校を開設しただけで頓挫してしまいました。賀川の最初の弟子はこれを悔やみ、今は若い人たちに実施してもらいたいと言っています。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

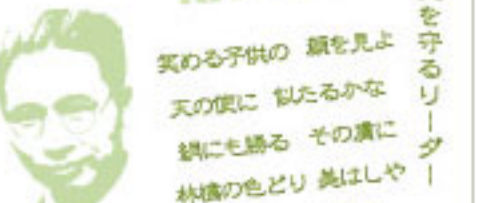
賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。



賀川豊彦の著「児童虐待の防止」

喜びを感じる時、高根学園保育所は自然に囲まれた環境の中で、子どもたちと散歩をするなかで木の葉や花などを一緒に発見して楽しむこと。また子どもたちが今までできなかったことができた時に一緒にその嬉しさを共有した時に喜びを感じます。

保育士として、子どもたちの気持ちを察し、先回りして次の行動のための環境を用意することの難しさを日々感じながら、保育に取り組んでいます。現在、多くのお母さん方に保育所を利用していただいています。自分も子どもができてからは、以前はよくわからなかった母親の気持ちをより深く理解して接することができるようになったと感じています。

これからは子どもたちと一緒に、楽しさや悲しさを共有しながら、子どもの気持ちを受けて、保育の仕事を通じていきたいと思っています。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

賀川は一年に一度、地域の子どもたちを海岸につれて行き一緒に楽しく過ごしました。現地の人は、ラムネやお菓子、冷えたスイカなどで歓迎してくれました。子どもたちは「大人になってからも一番嬉しかったのはあの明石(海岸)行きだった」と語っています。写真は明治43年、兵庫県明石の海岸に遠足に行ったときの様子です。

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障

今年四月に制定された「障害者自立支援法」。障害者が安心して暮らせる社会をうたうための制度が、実際の現場ではどのように受け入れられているのか、現場の声を聞きました。「……その内容を知った時、「こんなもの誰が考えたのか」という思いがこみ上げてきました。どこを取っても問題だらけの内容ですが、その中で特に大きな問題となっているのは、①利用料の本人一割負担(かがわ工房のような「働く場所」に通うのにも利用料が必要になる)。②障